

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 原発再稼働許さず、子どもの未来を守ろう！！</p> <p style="text-align: right;">（40分）</p> <p>あれだけ国民を震撼させ、日本はもとより世界中に放射性物質を拡散したレベル7の原発事故が起きました。原子力発電は絶対安全と、国策として政・官・財一体で進められてきました。</p> <p>その結果、東京電力福島第一原発事故は起きたもので、事故の反省はおろか責任も感じていないのでしょうか。</p> <p>民主党野田首相は、2011年12月16日には、早くも「事故収束宣言」を行っています。その上今年の7月2日には、すべての原発が止まる中、大飯原発3号機の再稼働をさせました。</p> <p>当時の世論調査でも国民の5割を超える原発再稼働反対がありました。毎週金曜日には「原発再稼働反対」の集会、デモ行進が首相官邸前、国会周辺で実施されていました。</p> <p>又これに呼応して全国各地で行われています。</p> <p>7月2日大飯原発再稼働直後に東京電力福島第一原発事故を検証する国会の事故調査委員会は、7月5日報告書を発表しました。</p> <p>報告書は事故について「自然災害ではなく『明らかに人災』である」と指摘しています。</p> <p>また歴代の政府、原子力の規制、当局と推進当局両方にまた</p>	<p>市長</p> <p>教育委員会</p> <p>委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>がる責任の放棄と圧力にも踏み込んだ分析もされているとのことです。</p> <p>そして事故を「世界の歴史に残る大事故」と断言し「2012年6月に於いても依然として事故は収束しておらず被害も継続している」との認識を示しました。</p> <p>野田首相が大飯原発再稼働後のわずか3日後のことでした。</p> <p>公表された国会の事故調査委員会の報告書から見ても、大飯原発再稼働の根拠は崩れています。</p> <p>①自然災害ではなく、明らかに人災であること。</p> <p>②「規制する側」と「規制される側」の力関係が逆転していること。</p> <p>③原子炉の損壊について「ないとは確定的には言えない」とのこと。</p> <p>本来再稼働の判断は報告を待って対応すべきです。</p> <p>また野田首相の「事故終息宣言」は事実を無視したものであります。</p> <p>福島第一原発の事故は収束しておらず、しかも被害は継続しているという深刻な状況に置かれていることを、深く認識すべきです。</p> <p>国民無視の道理もない状況と「再稼働」で国民の心も臨界点に達したのでしょうか。</p>	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2012年7月16日、原発10万人集会が代々木公園を埋め尽くそうと呼びかけられました。当日は17万人の人々が街頭に繰り出し、60年安保以来のデモとなったと報じられました。「いい加減にせんかい」「嘘にはもう騙されない」等のプラカードや、「野田政権はすべてを奪った上に国民の声を聞こうとしない。電力会社と政府は許せない」と福島のある里を原発で奪われた怒りをぶつける人、母親が・父親が「子どもを守れ」「原発は要らない」「再稼働反対」のコールが続きます。</p> <p>7月29日の国会大包围行動の集会デモには20万人が原発のない日本の実現を訴えました。</p> <p>原発事故による放射能汚染は市民の暮らし、特に子どもの健康への影響を心配して市へ対応をお願いしてきました。市に於いては市民の大変な心配を受け止め、努力されていることに市民の皆さんと共に感謝しています。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>(1) 食材の放射能濃度の測定を夏休みの一定期間、学校給食センターで実施していますが、今後の学校の休みの時の使用について。</p> <p>又測定に当たっての市民への周知について。</p> <p>(2) 新給食センターにもう1台食品測定器を購入し、市民持ち込み食材の放射能濃度の測定を実施することについて。</p>	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(3) 脱原発を目指す首長会議への参加について。</p> <p>2 高い国民健康保険税を支払えなくても、保険証を取り上げられては困ります</p> <p style="text-align: right;">(20分)</p> <p>今日本の社会は貧困と格差が広がり、若者の正規職場がなく、不安定で結婚もできない状態にあります。</p> <p>特に女性は非正規雇用が多く、正規雇用で働く女性の割合は1997年頃から大きく減って今年の春は45.4%になりました。</p> <p>不安定で低賃金、1人で生活出来ない状態です。</p> <p>又政府が目をつけている年金ですが、既に今年の4月から物価スライドで引き下げが実施されています。</p> <p>年金者組合の女性高齢者生活実態調査の中間まとめによると、女性高齢者の42.6%が10万円以下の年金月額です。家計の負担は当然食費が多いですが、次は保険料です。介護保険料と合わせて国民健康保険税は大きな負担となっています。</p> <p>その次が医療費と薬代ですから健康を守る国民健康保険のあり方が重要です。</p> <p>(1) 高すぎる国民健康保険税の引き下げについて。</p> <p>(2) 国民健康保険税の徴収の方法について。</p> <p>(3) 市の独自減免制度とその活用について。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(4) 保険証を取り上げ資格証明書の発行をやらないでいただきたい。</p>	